

No.126
2016
Autumn

Hachinohe
Institute
of
Technology
Press
SOUKYU

蒼穹

学校法人八戸工業大学 広報

法人創立60周年特集号

H. I. T. Communication



CONTENTS

八戸工業大学

- p2 - 3 理事長あいさつ / 法人60年のあゆみ / 大学・一高・二高・さくら幼稚園
- p4 - 5 工大祭 / 自動車技術優秀賞受賞 / H28学チャレスタート / 裂織ワークショップ / 2016女子会 / JAMSTEC 開講式 / 青少年のための科学の祭典2016 / 夏のオープンキャンパス / 市民合唱祭参加 / サークル紹介 / 最新測量機器体験
- p6 - 7 産学連携プラザオープン / 1日大学生 / 文科省原子力研究交流 / 中国見聞録 / 全学FD研修会 / 技能検定合格 / 「彩才祭」案内 / 土木工学科・建築工学科設置40周年 / 電気学会東北支部講演会 / 保護者懇談会 / ブログ紹介 / 入試日程 / 11~1月行事予定
- p8 - 9 **えがおいっぱい さくらようちえん**

八戸工業大学第一高等学校

- p10 - 11 第58回体育祭 / 体験入学 / 部活動体験・見学会 / 全国高校総体・戦績 / 日米交流事業 / 玉掛け技能講習 / 小型人工衛星打ち上げプロジェクト / ボランティア活動 (JRC / 八戸三社大祭) / 八戸市総合防災訓練

八戸工業大学第二高等学校

- p12 - 13 JAXA 宇宙飛行士講演会 / ミランダ・シェリー先生着任 / 次世代リーダー養成塾 / 2016ひろしま総文 / 情報ビジネスコース商品開発 / 中国語学研修 / 鮫ボラ高ボラ報告

さくら幼稚園

- p14 - 15 なかよしさい / 卒園児からのメッセージ / ようちえんってこんなところ / とらんぼりん
- p16 理事会・評議員会報告

Mobile & iPhone & Android
モバイルサイトへアクセス



海が育てた学園60年



今年、学校法人八戸工業大学は設立60周年を迎えることができました。これも偏に、地域の皆様のご理解とご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

また、時同じく、八戸工業大学第一高等学校も設立60周年を迎えました。第一高校は、昭和31年に無線通信技術者の養成を目的に「八戸高等電波学校」として創設され、その後「八戸電波高等学校」「八戸電波工業高等学校」の時代を経て、昭和50年「八戸工業大学第一高等学校」と校名を改称し、現在、22,000名を超える卒業生を輩出しております。彼らが有為な人材として地域社会で活躍している姿は、法人教職員皆の大きな喜びであります。

この60年で本法人は、大学、高等学校2校、幼稚園を設置するグループへと成長してまいりました。今後も、時代の要請、地域の期待に応えるべく、絶え間なく変貌する社会に適応できる高度な専門的知見を持つ人材の育成と、教学を通じた地域貢献にさらに取り組みで参りますので、これから尚一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

理事長 柳谷 利通

法人60年のあゆみ

昭和31年 八戸高等電波学校開校 村山弥寿男校長就任
学校法人八戸高等電波学校を設立

昭和34年 学校法人八戸電波高等学校に改称

昭和36年 学校法人八戸電波工業高等学校に名称変更

昭和39年 八戸電波工高に普通科を設置

昭和46年 さくら幼稚園を開園 佐藤政五郎園長就任

昭和47年 学校法人八戸工業大学に改称

八戸工業大学 工学部機械工学科・産業機械工学科・電気工学科 を開学
小和田武紀学長就任

昭和48年 八戸電波工業高等学校普通科を分離移転（大開校舎）

昭和50年 白銀校舎（工業課程）を八戸工業大学第一高等学校に改称
大開校舎（普通科）を八戸工業大学第二高等学校として開校
根城正一郎校長就任

昭和51年 八戸工業大学に土木工学科・建築工学科設置
（現土木建築工学科）

昭和57年 八戸工業大学にエネルギー工学科設置
（後の生物環境化学工学科へ転換）

昭和58年 八戸工大二高に美術コースを設置

平成7年 八戸工業大学に大学院工学研究科修士課程を設置

平成9年 八戸工業大学に大学院工学研究科博士後期課程設置

平成11年 八戸工業大学にシステム情報工学科を設置

平成14年 八戸工業大学に生物環境化学工学科を設置（現バイオ環境工学科）

平成17年 八戸工業大学に感性デザイン学部感性デザイン学科を設置

平成22年 八戸工大一高を工業科と普通科に改編



初代高等学校長 高橋忠三先生（一高）



無線通信実習の授業（一高）



闘魂旗獲得による街頭パレード（一高）



1993年ラグビー部の活躍（二高）



大学校舎第一期工事（本館）完成



1996年幼年消防クラブ



お正月餅つき



種差少年自然の家に絵画を寄贈（二高）



ニーズを探り、夢をデザイン化
八戸工業大学



1学部3学科でスタートした大学は地域の方々に支えられ、現在は全国でも数少ない感性デザイン学科を有する2学部6学科の大学へと成長することができました。今後は、文化コミュニケーションコースの新設、JAMSTECとの連携から海洋工学を視野に入れた教学と研究に取り組んで参ります。



志学寮新築へ
八戸工業大学第一高等学校



白銀の地に開校して以来、多くの卒業生と地域の皆様に支えられ、60周年を迎えました。文武両道を教育の柱として、これからも時代のニーズに応じて参ります。また、教育環境・設備のより一層の充実を進める目標を掲げ、その第一歩として志学寮新築に着手致します。



「たくましく生き抜く力」を育む
八戸工業大学第二高等学校



今春、国公立大学合格50名を達成し県内唯一の私立進学校として躍進しています。昨年創立40周年を迎えて制服を一新、さらにメディカルカレッジクラスを新設するなど伝統を踏まえた進化を続けています。変化の激しい時代の中でも自分らしく社会に貢献できるよう「たくましく生き抜く力」を育むことを目標に、日々の教育活動に邁進して参ります。



届け、さくらスマイル
ホームページリニューアル
さくら幼稚園



今年、さくら幼稚園では保護者の皆さまへの情報提供や地域の方々への発信と交流に向け、ホームページのリニューアルを行います。子ども達の笑顔は地域の活力の源。お日様のような元気な子ども達の成長を、これからもさくら幼稚園は温かくサポートしていきます。



2016 工大祭 「Moment Festival」 ～終わらないパレード～ 10月8日(土)・9日(日)

今年のテーマ「Moment Festival」～終わらないパレード～には、2日間という短い学園祭を、永遠に感じられるような祭りになりたいという思いが込められている。今年は、体験・実験・ものづくりブースが多く、女子学生主催のブースが目を惹いていた。
また、この日「秋のオープンキャンパス」が同時開催され、参加した高校生と保護者は学生生活や学習内容について熱心に聴いていた。

冬のLED信号機を見やすく ～自動車技術アイデアコンで優秀賞～

機械情報技術学科4年田代優太さん(八戸工高/写真左)と前田裕哉さん(八戸工大一高/写真右)が、6月に仙台市で開かれた自動車技術会東北支部の自動車技術独創アイデアコンテストの大学・高専・専門学校の中で、優秀賞に輝いた。LED信号機は冬季に着雪すると運転者から見えづらくなる。これを解消すべく、二人は着雪した雪の結晶が光を屈折させる点に着目し、運転者に信号の光を見えやすくするため、信号機に取り付ける「LED付パネル」を考案した。この研究は、今後さらに改良を加えて実用化をめざしていく。



南部の伝統を現代へ ～裂織 FUTURE WORK SHOP～

八戸地方の伝統工芸である裂織(さきおり)の体験を通して、裂織の良さや楽しさを地域につたえるワークショップを、感性デザイン学科の学生が開催した(8/20・21、9/10・11)。学生達は、南部裂織保存会の井上澄子先生から事前に研修を受け、体験者への指導に臨んだ。体験者は古い布が新たな模様の布に変わる魅力を楽しんだ。織りあがった作品は11月23日(水・祝)八戸ポータルミュージアムはっちで開催の感性デザイン学科公開講座で展示される。



H28年度学チャレ、スタート!

7月6日、平成28年度学生チャレンジプロジェクト採択決定通知書の伝達式が行われた。助成金を受け、学生たちはそれぞれのプロジェクトに取り組んでいく。成果発表会は来年度の春に行われる。

団体	研究テーマ
ADL(建築デザイン研究会)	自然・歴史・防災教室
HIT Team たねちゃん	もっと八戸の色んな所へ行こう! GPSを活用したロケーションシステムと観光者向けスポット紹介アプリの開発
ぐっJOB NEXT	青森の魅力をジオラマに詰め込んで...
宇宙工学同好会	プロジェクト・ゴールデンアイ
Lucky horse	はちおりプロジェクト
HVバギープロジェクト	HVバギープロジェクト
ゼネラルレクラーク	八戸工業大学のカラーアイデンティティ構築
食品研究会	野菜を活用した食育推進への取り組み

女子学生と女子教職員の交流会

6月23日、メディアホールで女子学生と女子教職員の交流会「新入生ウェルカムティーパーティ」が開催された。全学生に占める女子学生の割合は約14%と、少ないながらも増加傾向にある。女子学生キャスターの進行で、先輩から後輩へのアドバイス、女子教職員からのメッセージと会話は進み、バイキング形式でスイーツや軽食を楽しみながら、キャンパスライフについて意見が交わされていた。



JAMSTEC「海洋工学の基礎と未来」開講

本学と国立研究開発法人海洋研究開発機構（JAMSTEC）は、海洋資源や海洋環境保全に係る研究開発および人材育成等の進展に資することを目的に連携・協力に関する協定を締結している。この協定に基づき平成28年度連携人材育成事業として、JAMSTECより特任参事 堀田平（ほったひとし）先生を講師に主題別ゼミナール「海洋工学の基礎と未来」を開講、9月29日開講式を行った。



< 公開講義予定 >

第6回講義「海中機器について」

日時 12月8日 14:30~17:40

(途中休憩10分)

会場 八戸工業大学メディアホール

対象 学生・一般の方(無料)

本講義は、学生へ開講している講義を公開するものです。

一般の皆さまの聴講を、心から歓迎いたします。受講料は無料です。詳しくは、本学HP(<http://www.hi-tech.ac.jp/>)をご覧ください。

科学の祭典開催

8月6日・7日の2日間「青少年のための科学の祭典2016八戸大会」が八戸市の児童科学館を中心に開催された。八戸大会は21回目を迎え、市と教育委員会の協力で演示者に教員が多く、中学高校生のボランティアの活躍も素晴らしい。本学教職員・学生・OBも演示講師として多数参加し、ソーラーカー、CD ジャイロコマ、河童をイメージのLED工作ほか、屋内外10ブースを担当した。人気テーマは、屋外でのスピードガンによる投球速度測定「プロ野球選手に挑戦」で、小さなアスリートから大人まで野球ボールを投げては速度を競い合っていた。



学生スタッフ大活躍！ 夏のオープンキャンパス、爽やかに

7月24日・8月6日の2日間、本学の「夏のオープンキャンパス」が開催された。今年も本学学生スタッフがイベント運営を担当し、学部学科の魅力がわかる「学科体験学習」、広い構内を探索する「キャンパスツアー」、学科の特色を紹介する「学科紹介ブース」などを実施した。両日ともに多数の来場者に足を運んで頂き、大盛況のうちに終了した。参加者からは「学生の皆さんと会話しながら、楽しく学ぶことができた」などの声が寄せられた。



市民合唱祭に参加

7月3日、八戸市公会堂で第42回八戸市民合唱祭が開催され、本学合唱部が参加した。若さを活かし、「Tomorrow」ほか2曲を披露し、後半は全参加者と3曲を熱唱した。部員は学科・学年の垣根を越え、「楽しく元気よく」をモットーに、毎日練習に励んでいる。今後とも、地域の様々な催しに参加し、歌の力で本学と地域を活性化してほしい。

岩崎真梨子(合唱部副顧問 感性デザイン学科講師)



サークル紹介 English 研究会

私達「English 研究会」は、海外から原子力の研究にいらした外国人研究員とのディスカッションや学外研修など、生の英語に触れる機会を作り英語の習得を目指しています。また、TOEIC や英検などの資格取得にも挑戦しています。

サークル内には海外にフィールド・トリップに行きたいと考えている部員もあり、部員一人ひとりがそれぞれの目標を持ち、日々楽しみながら英語を学んでいます。



English 研究会部長 小笠原 翼
(システム情報工学科4年/八戸工大一高)

最新の測量技術習得へ

7月8日、土木建築工学科3年生を対象に、東北測量設計協会他の協力による産学連携教育が実施された。学生は最新のトータルステーションシステム、電子平板を使用し、BIM・CIM (Building Information Modeling, Construction Information Modeling) に使用する3次元レーザース



キャナー測定の指導を受けた。建設コンサルタント業に対する理解を深めるよい機会となった。

「産学連携プラザ」inチーノはちのへ

本学と青森県三八地域県民局が連携し、三八地域の企業と大学・高専の研究者をつなぐ拠点として「八戸工業大学 地域産業総合研究所 産学連携プラザ」を8月7日、八戸市中心街チーノはちのへ1階にオープンしました。当プラザでは、各種セミナー・イベントを開催しています。詳しくは産学連携プラザホームページ <http://www.plaza-hitech.jp> をご覧ください。皆様のご来場をお待ちしております。



<主な機能>

大学・高専等の研究者の活動内容や研究成果について発信
三八地域の産学官連携に関するイベント情報の発信
企業や研究者の活動PRの場としてセミナーなどを開催
各種の相談を受けて、産学官連携をサポート
来訪者が、情報収集・交流の場として活用

あなたも1日大学生

本学では、高校生の進路選択の一助として、インターンシップ受入制度、大学見学会、高大連携の体験型学習などを設けています。これらの制度を利用して、毎年数多くの高校生に参加頂いています。体験型学習では、数日をかけて、与えられた課題を実験や議論を通じて解決していきます。こうした「大学における学び」を体験することで、生徒一人ひとりが進路を考えるきっかけにつながればと願っています。

石山 俊彦(社会連携学術推進室長)



原子力研究交流

アジア諸国の原子力放射線利用の安全性向上を目的とした文部科学省の協力プログラムがある。この一環の「原子力研究交流制度」による研修生を本学では受け入れている。今年度は、インドネシア原子力庁のSUGIANTO Ediさんとカザフスタン国立原子力センターBAIGOZHINA Azharさんが来学した。

9月15日、学長、指導教員ら関係者と懇談し、これから約3ヵ月間の研修への抱負を語った。



中国見聞録 ~ 中国語学研修 ~

私は、中国という国がテレビや新聞のニュースで報道されているような国なのかどうか興味があり、自分の目で確認したいと、8月17日から9月2日に行われた中国語研修に参加しました。



実際に中国(瀋陽)を訪れると、普段テレビや新聞で報道されるような不安はなく、みんなやさしい人ばかりでした。また、食品に関しても不安がありましたが、実際に食べてみると、どれもおいしいものばかりでした。とくに、野菜や果物はおいしいものが多く、機会があったらもう一度訪れたいと思いました。

山崎 雅登(土木建築工学科2年/岩手・宮古工高)

全学FD研修会開催

8月10日東北大学高度教養教育・学生支援機構教授 総長特別補佐(研究倫理担当)羽田貴史氏を講師に招き、「大学で研究倫理体制をどう構築するか-東北大学の取り組みと課題-」と題して講演いただきました。なお、今回は、八戸学院大学、八戸工業高等専門学校、本学の三校協同FD(Faculty Development)研修会として実施したものです。



技能検定試験合格

国家検定「2016年度前期技能検定試験」が行われ次の学生が合格しました。

機械加工 普通旋盤作業3級(1名)

須藤啓太(4年/七戸高)

機械加工 マシニングセンタ作業3級(2名)

秋元良介(3年/秋田・秋田北鷹高)

鈴木友康(3年/八戸北高)

機械保全 機械系保全作業3級(19名)

北村優宜(3年/岩手・久慈高) 佐野遼太郎(3年/三戸高)

武石大貴(3年/秋田・大館工高) 坪木亮輔(3年/秋田・

五城目高) 野田翔平(3年/八戸工大一高) 米澤美鈴(3年/

岩手・西和賀高) 浦田滉平(3年/高認) 秋山恭人(2年/

八戸工大一高) 上野澗弥(2年/八戸工大一高) 沢口

奨悟(2年/八戸西高) 田名部一希(2年/八戸西高) 松

村直斗(2年/八戸工大一高) 北向佑気(1年/むつ工高)

工藤綜一郎(1年/秋田・能代高) 鈴木航士郎(1年/秋田・

由利高) 坪真也(1年/むつ工高) 濱浦匠(1年/北海道・

星槎国際高) 藤田大捺(1年/岩手・福岡高) 森健(1年/

北海道・函館大学附属有斗高)

文化会主催

彩才祭

11月12日(土)~13日(日)

八戸ショッピングセンターラピアにて

入場無料

祝 土木工学科・建築工学科設置40周年 同窓会設立35周年

7月26日、土木建築工学科の前身である土木工学科・建築工学科の設置40周年および両学科の同窓会であるCivil会・拓北会の設立35周年を記念して、八戸グランドホテルにて講演会と祝賀会を開催いたしました。また、7月21日～23日の三日間、八戸ポータルミュージアムはっち一階はっち広場において、記念ポスター展を開催しました。祝賀会は竹内貴弘学科長のあいさつで厳かに始まり、会場は懐かしい教職員や卒業生の談笑の声に包まれ、同窓会長の応援メッセージで無事終了しました。ご来賓、卒業生、旧教職員等々ご参加頂いた皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

(土木建築工学科周年事業担当一同)



保護者懇談会

9月上旬、東北各地で保護者懇談会が開催され、教員から在学生の学生生活の状況、就職活動、学業成績などについて面談が行われた。八戸会場では、保護者が行う就職支援について株式会社ディスコ東北支社中田昌克氏の講演をいただき、130名の保護者の来場があった。保護者から「自分たちの時と就活状況が全く異なると知った」、「親は見守ることが大切」など、感想をいただいた。



Topics ～「学生生活ブログ」紹介～



八戸工業大学ホームページの中に、ひっそりとたたずむサイトがあります。学生有志で運営している～八戸工業大学学生生活ブログ～

<http://student-life.hi-tech.ac.jp/> がそれです。

このサイト、探するのが大変ですが、学生のライフスタイルを垣間見ることができます。ゆったりとした時間の流れを楽しみたい方にお勧めです。(写真：ブログから秋田県人会の様子。)

(ブログ名：ゆーみん)

藤田前学長が講演

電気学会東北支部青森支所講演会

7月16日、本学多目的ホールにおいて平成28年度第1回電気学会東北支部青森支所講演会が開催されました。今回は本学名誉教授



で前学長を務められた藤田成隆先生に、「工学と地域とともに」と題して講演をいただきました。先生は本学の電気系教員として長年教鞭を取られ、学長としても学園の発展に寄与されました。これまでの御経験を振り返り「夢」のある人について語られました。夢が実現した暁には新たな夢が生まれ、それが活力になるとの学生諸君へのメッセージでした。遠地からの参加者があり、加えて、土曜日の振替講義日であったこともあり、多くの学生も聴講しました。

関 秀廣(電気電子システム学科長)

平成29年度入試日程

入試区分	クール	エントリーカード受付期間(必着)	面談日	試験場
AO 入学試験	第3クール	11月18日(金)～11月25日(金)	12月3日(土)	八戸
	第4クール	1月30日(月)～2月3日(金)	2月10日(金)	
	第5クール	3月1日(水)～3月10日(金)	3月17日(金)	

入試区分		願書受付期間(必着)	試験日	試験場
推薦 入学試験	指定校制	11月1日(火)～11月8日(火)	11月19日(土)	八戸 青森 仙台 秋田
	公募制 (他大学との併願を認める)	12月1日(木)～12月16日(金)	12月22日(木)	八戸
専門・一般 入学試験	専門高校・ 総合学科	1月4日(水)～1月25日(水)	2月2日(木)	八戸 札幌 青森 盛岡 仙台 秋田 東京
	一般 (前期：学業特 待生選考試験 を兼ねる)	前期 1月4日(水)～1月25日(水) 後期 3月1日(水)～3月13日(月)	2月2日(木) 3月22日(水)	八戸
大学入試センター試験 利用入学試験 (前期・中期：学業特待生 選考試験を兼ねる)	前期	1月4日(水)～1月27日(金)	平成29年 1月14日(土)・ 1月15日(日)の 大学入試セン ター試験	本学の 個別試験 は課さない
	中期	2月1日(水)～2月17日(金)		
	後期	3月1日(水)～3月21日(火)		

行事予定 11月～1月

11月12日(土)～13日(日) 彩才祭(inラピア)
12月24日(土) 冬季休業開始(～1月4日(水)まで)
12月29日(木)～1月3日(火) 年末年始休業
1月5日(木) 授業開始
1月24日(火) 後期定期試験開始(～1月30日(月)まで)

えがお いっぱい さくらようちえん



あわ た 泡が立たないように、
そーっとかきまぜるよ。

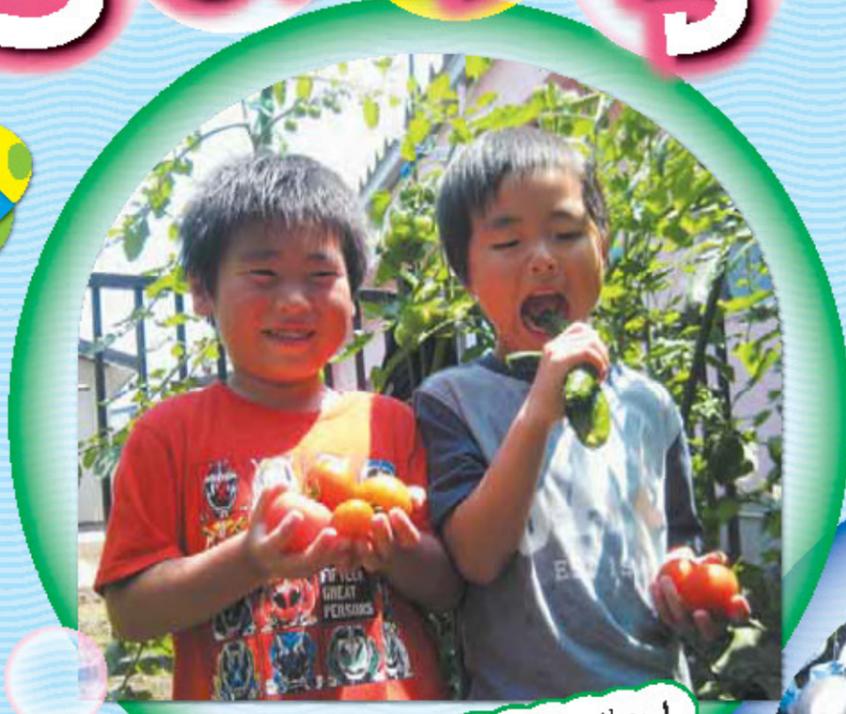
ジャン！



はだし あそ 裸足で遊ぶの
たの 楽しいね。
あし うら 足の裏が
きも 気持ちいい〜♪



いろ みず あそ たい す 色水遊び大好き！
きれいにできたでしょ。



おもわずパクリッ！



おいしいトマトになあれ！



びよーん☆
メガネのできあがり〜

ほらっ！
あか きいろ 赤と黄色を
ま 混ぜると
かん いい感じ♡



われ 私たちのお城へようこそ。



ほうきと帽子で、
まほう 魔法使いに〜んしん!!!



えほん だいじんき ミックの絵本は大人気。
「あっ、ミック！」



第58回

体育祭



9月2日、第58回体育祭が新井田多目的グラウンドで開催された。早朝からやませの影響で肌寒い中での開会となった。しかし、時間を追って晴れ間が広がり、競技の盛り上がりに合わせて気温も上昇し、文字通り「熱い」戦いが繰り広げられた。どの生徒も競技、応援に全力を出

しきり、終始笑顔と歓声で大きな盛り上がりの中、本校60周年を飾るにふさわしい体育祭を終えることが出来た。今年も赤軍（情報・電子通信・電気コース）が9年ぶりに優勝の栄冠を勝ち取った。



体験入学

8月18日～20日、中学生を対象に体験入学が行われ、県内外の中学生932名が参加した。普通科の高校生活発表、工業科では10万ボルトの稲妻実験、初心者用プログラミングソフトを使ったオリジナルゲームの制作、トーチを使用して鉄を溶断する体験、型枠に石膏を流し込んでミニテトラポット製作、耐震構造の家の学習という各コースの内容を体験した。中学生は、興味津々といった様子で目を輝かせ、驚きの声を上げたり、感心したように頷いたりしていた。

体験入学

プチ高校生

部活動体験・見学会

8月21日、第19回の部活動体験・見学会が開催された。今回は363名という多くの中学生の他、保護者も多数参加するなど本校の部活動に対する関心の高さが感じられた。あいにくの雨により、急遽、活動場所が変更されるというアクシデントもあったが、参加した中学生は真剣な表情で活動に取り組んでいた。また、午後からは一部の中学生が工業科の見学を行った。皆、楽しかったという満足そうな表情と、本校の部活動の雰囲気を感じ取り帰途についた。



全国高等学校総合体育大会

～美しく咲け君の笑顔と努力の華～

8月4日～8日まで、岡山県笠岡市笠岡総合体育館において、平成28年度全国高等学校総合体育大会ウエイトリフティング競技大会が行われた。85kg級において副島拓夢君（機械コース3年/白銀中）が第6位入賞、鈴木諒君（機械コース3年/下長中）が+105kg級で第5位入賞を果たした。

【団体戦出場】

登山・自転車競技・男子レスリング・男女水泳・ウエイトリフティング

【個人戦出場】

女子ソフトテニス・女子レスリング



鈴木諒君（デリー-東北新聞社提供）

主な戦績

- 登山競技 8 / 6～8 / 10（岡山県真庭市・新庄村）
 団体16位 芦渡 斎（電子通信コース3年/鯨中）
 古里 祐貴（機械コース3年/市川中）
 大崎 烈弥（機械コース3年/八戸東中）
 馬場 日向（機械コース1年/白山台中）
- 自転車競技 7 / 29～7 / 31（鳥取県倉吉市）
 トラック競技 ポイントレース12位
 山本 真寛（進学コース3年/市川中）
- ウエイトリフティング競技 8 / 1～8 / 5（岡山県笠岡市）
 +105kg級 5位
 鈴木 諒（機械コース3年/下長中）
 85kg級 6位
 副島 拓夢（機械コース3年/白銀中）
- 水泳競技（男子） 8 / 17～8 / 20（広島県広島市）
 100m背泳 11位
 高橋 輝（進学コース3年/八戸二中）

高校生による青森県とメイン州の交流事業

7月13日～19日まで、青森県が主催する「高校生による青森県とメイン州の交流事業」に参加しました。9人の訪問団が各家庭でホームステイをしました。私ที่บ้านで受け入れたのは去年お世話になったホストブラザーでした。久々に再会した事と、私の家族と一緒に生活する事を大いに喜んでくれました。日本での生活に少し戸惑いながらも思い出をたくさんつくる事ができたようでした。自分たちが伝えたい事を一生懸命に日本語で話す姿をみて、私も彼らに負



けないくらいに英語の知識を身につけ、スキルアップを図りたいと改めて実感しました。今後も国際交流行事に積極的に参加をして、国や文化を越え交流の輪を広げていきたいと考えています。

林 公平
(進学コース2年 / 木ノ下中)

玉掛け技能講習



7月25日～28日まで、本校において玉掛け技能講習が実施された。これは、クレーンで荷を吊り上げる際に、安全に吊り上げ運べるように、クレーン運転手に笛と手で合図を送ることができる資格を習得するものである。最初は戸惑っていた生徒達であったが、段々とスムーズに合図が送れるようになった。50名の生徒が受講し、全員が合格した。

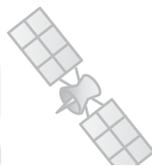
小型人工衛星打ち上げプロジェクト

その5

～ 製作協力校合同合宿に参加 ～

全国工業高等学校長協会の100周年記念事業である「小型人工衛星打ち上げプロジェクト」に参加する全国11校の工業高校生が、千葉県柏市にある「さわやかちば県民プラザ」に集まり、8月2日～4日まで合同合宿を行った。今回の合同合宿では、人工衛星を設計・製作するにあたり、基本的な知識を共有し、担当モジュールのインターフェイスの調整や問題点を議論することを目的と

した。本校からは、橋本沙也加さん(情報コース1年/湊中/写真左)、佐々木美羽さん(情報コース1年/長野・遠山中/写真右)の2名が参加した。本校の担当モジュールは、TDA (Telemetry Data Accumulator) という、衛星システムの状態を把握するための重要な部分である。このモジュールと他校担当のモジュールが上手く接続できるようにするため、インターフェイスの詳細を決



める会議を実施した。また、人工衛星打ち上げ後の運用の実験として、手始めに衛星受信用のクロス八木アンテナを製作し、東京大学が打ち上げた衛星 (PRISM) から送られてくる衛星システムの状態をソフトウェアラジオ (SDR) を使って受信に成功した。

ボランティア活動

JRC部 ちびっこマラソンお手伝い

7月3日、八戸市東運動公園陸上競技場で、第16回八戸ちびっこマラソンが行われた。JRC部は、受付係・誘導係・給水係として活動し、参加した小学生ランナー 923名の熱い走り陰ながら支えた。本校以外のスタッフとも積極的にコミュニケーションを図り、円滑な大会運営に貢献した。



八戸三社大祭



8月1日・3日の両日、毎年恒例となっている運動部生による八戸三社大祭のボランティア活動が行われた。今年は108名の運動部生が協力した。生徒達は「地域の方々と交流しながら祭りに参加できて嬉しい。」と笑顔で語った。

八戸市総合防災訓練

8月28日、新井田公園で行われた八戸市総合防災訓練に、本校消防クラブ員15名が参加した。事故車両での多数傷病者対応訓練では、消防署や病院の関係者の迅速な対応に触れることによって、人命救助の大変さと近隣住民との協力体制の大切さを学ぶことができた。



JAXA 宇宙飛行士講演会

～ 未来への挑戦 ～



9月10日、第二体育館にて宇宙航空研究開発機構（JAXA）所属の金井宣茂（かないのりしげ）宇宙飛行士による講演会を開催した。全校生徒と中学生の希望者、そして一般の方々を対象に、本校が主催したものである。

金井氏は防衛医科大学を卒業後、医師として海上自衛隊に勤務したのち2011年に宇宙飛行士として認定された。来年2017年11月から約6ヶ月間、国際宇宙ステーション（ISS）でのミッションを予定している。講演は現在、訓練のために滞在しているアメリカ・テキサス州のヒューストンからインターネット回線を用いた遠隔講演で行われ、金井氏がモニターに登場すると会場から歓声があがった。

講演では、金井氏自らによって訓練の様子なども紹介され、参加者は映し出される貴重な映像を食い入るように見つめ、話に耳を傾けていた。

質疑応答では、二高生と中学生から宇宙での様子や、金井氏自身の信念についてなど様々な質問が出たが、丁寧かつ平易な表現で明瞭に答えて下さり生徒達は感銘を受けていた。

金井氏に続いて八戸工業大学の根城安伯教授による「科学で拓く宇宙推進機」と題した講演も行われた。宇宙開発に欠かせない探査機「はやぶさ」などの推進機についての研究・開発に関するお話が披露され、宇宙に興味を持った参加者が熱心に聴き入っていた。

学校法人八戸工業大学のALT

ミランダ先生がやってきた！

学校法人八戸工業大学のALTとしてミランダ・シェリー先生が着任した。ミランダ先生はアメリカ合衆国ハワイ州ホノルル出身で、ワシントンにあるSound Puget大学で日本語を学び、神田外語大学で短期の語学留学の経験もある。日本の漫画や音楽などにも興味があるとのこと。二高の教員として在籍するが、一高に週2日、さくら幼稚園に月1回出向き、英会話や英語の歌、手遊びなどの指導を行う予定。二高では放課後に誰でも参加できる英会話レッスンも実施する。



日本の次世代リーダー養成塾 青森県枠10名中3名が本校から

2004年に経団連が主催して開塾し、今年で13回目となる「日本の次世代リーダー養成塾」に、県内選抜を勝ち抜いた本校生徒が3名参加した。全国から集まった高校生がリーダーシップを養成し、未来の日本を主体的に創造する力をつけるため、世界的に活躍する経営者や政治的指導者を講師として迎え、2週間のプログラムを体験するものである。

参加生徒の1人である田中惇貴君（カレッジコース2年/百石中）は、「多くのバックグラウンドを持つ高校生と意見を交わすことで自分の視野が広がったと実感している。夢に向かって、いつまでに何をどうするかなど具体的に計画し、実現させるための方法を学ぶことができた。」と話した。



2016

ひろしま総文
3部門4名が出場



7月29日から8月3日にかけて広島県で開催された全国高総文（2016ひろしま総文）に、本校から3部門4名が出場した。

出場したのは、美術工芸部門に美術コース3年の山端彩乃さん（白銀中 / 写真右）、坂京美さん（八戸第一中 / 写真左）の2名、囲碁部門に磯崎綾華さん（カレッジコース3年 / 種市中）、弁論部門に木村琴音さん（美術コース2年 / 大館中）。

美術工芸部門出場者の2名は昨年度の青森県高総文で全国大会出品作品に選出され出場を果たした。囲碁部門では磯崎さんが昨年度の県予選会を勝ち抜き、唯一の女子メンバーとして団体戦に出場、2勝を挙げた。弁論部門の木村さんは『傍観者の覚悟』と題した「いじめ」をテーマにした弁論で昨年度の青森県高総文弁論部門で第一位となり、全国大会出場を果たした。惜しくも上位入賞は逃したが、堂々とした態度でのびのびと発表する姿が聴衆の目を惹きつけていた。

情報ビジネスコース

商品開発部始動！

情報ビジネスコースの2、3年生から希望者が参加している商品開発部は現在、(株)美保野グリーン牧場様にご協力いただき、商品開発プロジェクトを実施している。校内での試食会を経て、8月27日に「美保野ポークのサイコロステーキ」を八戸市のショッピングセンターラピアで試験販売した。無添加にこだわった商品で、ガーリック味とバジルチーズ味の2種類を用意。青森県産ニンニクを使用するなど、地元の食材を活用したもの。試験販売では目を引くようなチラシやポスターと試食を準備し、買い物客にPRした。予定数をすべて売り切る盛況ぶり。参加生徒は「多くの方が興味を持って下さり、自信がついた。商品化を実現したい。」と述べていた。



瀋陽の風に吹かれて
中国語学研修

8月17日から17日間、八戸工業大学の姉妹校である瀋陽工業大学で行われた語学研修に、二高から5名が参加した。当初は英語で中国語を学ぶ授業に戸惑う場面も見られたが、次第に自己紹介や簡単な日常会話ができるまでに上達。研修には歴史的建造物や博物館を見学するプログラムも含まれており、中国の文化を深く学ぶことができた。さらに多くの留学生が寄宿している留学生宿舎に滞在し、世界の国々の学生たちと交流を持つこともでき、貴重な体験となった研修であった。



夏休みのボランティア

【蕪島・種差・葦毛崎、観光ガイド】

8月6日、7日、13日、14日の4日間、1年生から3年生までの84名が鮫の観光地である蕪島・種差・葦毛崎のボランティアガイドを務めた。生徒達はそれぞれ工夫を凝らしてガイドを行い、海外からの観光客に対して英語でのガイドに挑戦した生徒たちもいた。多くの方々たちと関わり、貴重な体験と素敵な思い出ができた4日間であった。



【陸前高田市仮設住宅訪問】

8月6日、30名の生徒が陸前高田市の仮設住宅を訪問し、絵画寄贈と交流ボランティアを行った。この日はハワイからの支援団体も訪れており、その方々を交えてピザ作りの交流会も開かれた。交流会では急速、英語の通訳をする場面もあったが、任された生徒は堂々と役割を果たした。住人の方々も生徒たちも一緒に楽しみ、笑顔が絶えない有意義なひとときであった。



ながよしさい

「紙ひこうき、遠くまで飛ばすぞ!そ~れ!!」



「綿あめ、おいしそうだね!お母さん」



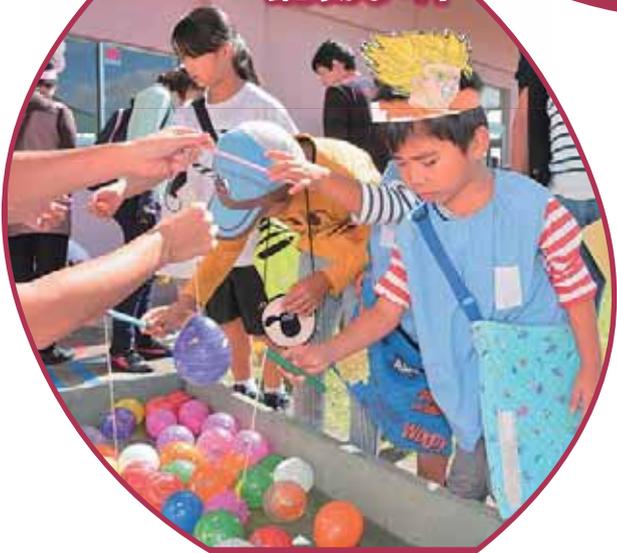
「輪投げの100点 目指して...それっ!」



~ 年長組の作品 ~



「何色の水ヨーヨーを、釣ろうかな~」



「僕も私も、ランプの精」



10月1日(土) 10:00から14:30まで、なかよし祭が開催された。この日は、幼稚園を広く開放し、在園児や保護者、たくさんの来場者で賑わった。子どもたちの作品展示の部屋は、年齢ごとのテーマに合わせて飾りつけされ、その中で写真を撮る人が多く見られた。園舎内では豚汁、映画、お面、テラスでは水ヨーヨー、綿あめ、園庭ではパカパカ、竹馬、シャボン玉、お絵描きなどいろいろなコーナーが設置された。作品をじっくり見た後は、混まないうちに豚汁コーナーで昼食をとる人やいろいろなあそびコーナーを回る人、それぞれ思い思いになかよし祭を満喫したようだ。



卒園児からのメッセージ

幼稚園での思い出

私は、さくら幼稚園でたくさん思い出を作りました。その中で覚えていることは、友達と積木でオリジナルのコースを作り、ビー玉転がして楽しんだことや園庭の遊具で遊んだり、友達と走り回ったりしたこと。たくさんある遊具の中でもグローブジャングルやブランコが好きで、外遊びがいつも楽しみでした。駐車場にチョークでアニメのキャラクターや、先生、友達の似顔絵を描いたこともよく覚えています。ま

た、行事の思い出の一つに運動会があります。特に最後の運動会は雨で、八戸工大の体育館で行われ、少し緊張したけれどレーで1位になり嬉しかったです。この他にも、通園バスで友達とアニメやゲームの話しながら毎日楽しく通園し、友達や先生と過ごした思い出は今でも心に残っています。園児のみなさんにも伸び伸びと過ごし、さくら幼稚園で忘れられない思い出をたくさん作ってほしいと思います。



青森県立八戸西高等学校3年 竹本 祐瑛さん (平成17年度卒)

ようちえんってこんなところ

年長 サマーフェスタ



「パチパチ花火きれいだね」

すいかわり大会



「みんなで割ったすいかおいしいね」

海浜保育



「海におでかけ楽しいな」

園児募集

満3歳児
3歳児
4歳児
5歳児

願書受付(定員に達次第締め切)
11月1日より

- 完全給食
- 通園バスあり
- 預かり保育あり

とらんぽりん

～ある日の保育日誌～

満3歳いちご組
8月24日(水)

絵の具で自分の顔の形を描いた。準備した色の中から好きな色を選ばせると、全員「ピンクがいい」と言っていたが、描くときになると一人の子がオレンジと黄色の2色を選んだ。筆を使うのがほとんどの子は初めてなので、使い方を教えた。上手に持って使ってはいたが、絵の具がなくなり、筆の毛先がぼさぼさになってそのまま描いていたので、そうになったら絵の具をつけるように教えた。すると、絵の具をつけ優しく丁寧に描いていた。次も覚えているかな。



「一緒に、虫の絵本見よう！このハチ、大きいね」

年少組 9月1日(木)

久しぶりの絵本の貸し出しに、子どもたちは大喜び。「おばけにしようかな...」「ももんちゃんにする」「かいじゅうがいいな」など、子どもたちのわくわくしている様子が感じられた。絵本室へ行くと悩んでいたわりにすぐに決まり、「先生これ」と言い、さっそく開いて見ていた。私が絵本を選んでいると「先生は、何借りるの?」と興味津々。子どもたちは絵本の読み聞かせもじっくり見ることができ、絵本に興味を示す姿が見られるようになってきた。

年中組 8月22日(月)

二期が始まり、真っ黒に日焼けした子どもたちが元気に登園してきた。「海に行ってきた」「おばあちゃんの家に行った」と、あちらこちらから楽しかった夏休みの思い出話が途切れること無く聞こえてきた。そんな中、「早く出来るようになったよ!」と、朝の準備を急いでやろうとする姿や片づけを進んでする姿など新学期早々張り切っている様子が見られる子もいた。今後もこうした姿を褒めたり、認めたりしながら意欲的に活動できるように促していきたい。



～年長じゃが芋掘り～
「じゃが芋ゴロゴロ...
たくさん採れたよ~!!」

年長組 8月24日(水)

バス2台に乗り込み、春、じゃが芋を植えた八戸工大公園内の畑に出発。じゃが芋掘りが始まると、全身泥だらけになりながらも夢中で掘る子がいるかと思えば、じゃが芋より虫が気になってそわそわしている子もいた。芋掘りに集中するように伝え、たくさん芋を探しあてることを目標に取り組んだ。その後は、想像していたより長い時間やり抜くことができた。たくさん掘ったことや大きい芋を見つけたことが嬉しかったようで、満足している様子を感じられた。



理事会・評議員会

学校法人八戸工業大学は、下記のとおり理事会及び評議員会を開催して各案件について審議を行い、それぞれ原案通りに承認した。

7月27日 理事会

- ・学校法人八戸工業大学「教職員の採用」に関する件

9月8日 理事会・評議員会

- ・任期満了に伴う役員、評議員の改選に関する件
- ・任期満了に伴う会長の選任に関する件
- ・資産の貸し出しに関する件

9月30日 理事会

- ・八戸工業大学改組・改革に関する件
- ・学校法人八戸工業大学「経営改善計画」に関する件

表紙
裏表紙

さくら幼稚園 外遊び
 さくら幼稚園 年長組 後村愛大くんの作品
 タイトル 「街をのみこんだ魚」